

スキルも大事ですが...

情報活用能力の育成を！

令和3年9月21日開催のICT活用指導力研修会の内容より



最近の一部の大学生は・・・

- 検索サイトで上位にある記事群を無条件に信じ、コピペしてレポート提出。
- コピペした部分の文体を統一することもしない。
- 自分の意見や考えも、インターネット上で探そうとする。

令和3年8月17日 内外教育 第6933号から

これは困った姿ですね。情報を活用する能力 つまり・・・

情報活用能力の育成が課題！

これからを生きる子どもたちには「情報活用能力」は必要不可欠な能力なのです！
それは学校で育成していくべき力です！

学習指導要領総則に「学習の基盤となる資質・能力」として「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」の3つの力が挙げられています。

そこで！

来年度の計画を立てる際に確認したいこと！

- ① 学校経営概要の情報教育やICT教育指導計画などを見直してみましよう。
- ② 文科省から出されている「情報活用能力の体系表例」などを参考にしながら、児童生徒の実態を職員全員で分析しましょう。
- ③ 体系的にどの教科のどの単元で情報活用能力を育成できるか、計画を立ててみましょう。

Check !

- ・タブレットに対応していますか？
- ・スキルだけの計画になっていませんか？
- ・情報を活用する力の育成について計画されていますか？

Check !

- ・情報技術を活用するための知識と技能は？
- ・問題解決における情報を活用する力は？

Check !

- ・「仙台版 情報活用能力育成 おすすめ単元表」が参考になります！
小学校版 中学校版



<https://onl.tw/sibhshg>



<https://onl.tw/Etb2Ksu>

Check !

<https://onl.tw/DUBQqMs>



※3ページ目に体系表

全国学力学習状況調査結果から見える指導のポイント

研究会報告

～令和3年度 第2回学力向上研究協議会～

今年度の「第2回学力向上研究協議会」を、11月9日（火）に開催しました。
『全国学力・学習状況調査』の結果をうけた指導改善の方向性について提案しました。



結果をもとに日々の授業の改善を行っていきましょう！

○「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、さらなる授業改善に繋げることがもっとも大切です。

「全国学力・学習状況調査」は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立て、さらにそのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とした調査です。

○「全国学力・学習状況調査」からみえる児童・生徒の実態は学校ごとに異なります。

「全国学力・学習状況調査」の正答率を問題別に分析するだけでなく評価の観点や問題形式ごとに分析することで課題がみえてきます。

また特に授業改善に関わる学校質問紙や児童質問紙、生徒質問紙の回答状況を分析することも有効です。

提案したい指導改善の方向性

① 良質なコンテンツ（学習内容）によるコンピテンシー（資質・能力）の育成を

➡見方・考え方を働かせた授業

「日本の算数・数学教育に学べ ～米国が注目する jugyou kenkyuu～」(ジェームズ・スティグラール/著 ジェームズ・ヒーバート/著 湊三郎/訳) では、未習の課題にも既習の見方や考え方を働かせて課題解決できる力は日本教育の優れた点であることが指摘されています。見方・考え方を働かせた深い学びを日々の授業で創造していきましょう。

② 適切な評価問題等により、つけたい力が目の前の児童・生徒についたのかを見取る

➡特に指導に生かす評価を充実させ、C段階の児童・生徒に適切に支援を行う

授業のねらいを達成した児童・生徒の姿を見取ることができる評価問題等を実施し、つけたい力がついたのかを日々の授業で見取っていきましょう。例えば「～を説明できる」が本時のねらいであれば評価問題を「～を説明しましょう。」と設定することが考えられます。また、本時の学びが次時以降の学習につながることを考えた場合、特にC段階の児童・生徒に日々適切な支援を行っていくことが大切です。

③ 研究授業では特に課題のある領域等を扱う

学校として課題の改善に向けた授業の推進につながります。失敗をおそれず課題の改善に向けた実践を行っていきましょう。

声をお聞かせください！

置賜教育事務所では、先生方の様々な疑問に「情報おきたま」や各種研修等で可能な限りお答えしたいと考えております。何か疑問に思っていること、もっと詳しく知りたいことなどがありましたら、右のQRコードからWebにアクセスして、お声をお聞かせください！

